

頂いた意見と市の考え方 【川柳地区】

NO	頂いたご意見	市の考え方
1	交流館について、将来的に廃止する施設とあり方を検討する施設にわかっているが、あり方を検討する施設は、利用率がよく、コストもかかっていないという理由で決めているのか。	【公共施設マネジメント推進課】 老朽化の状況から判断しています。
2	消防団器具置場について、施設の方向性としては、建替え時には他施設との複合化等を検討するとあるが、建物の総量の縮減を目指すのであれば、複合化ではなく、2つの器具置場を合併する考えはないのか。	【公共施設マネジメント推進課】 川柳分団の器具置場については、第1部は4年前、第2部は6年前に建替えを行っており、比較的新しい施設です。 消防団器具置場については、消防団員の担い手不足や活動区域の見直しなど、消防団のあり方から検討し、統廃合や複合化の検討を行う必要があると考えます。 頂いたご意見は、所管課に伝えさせていただきます。 【警防課】 公共施設マネジメント推進課が回答させていただいた内容と同じ考え方です。
3	将来的に廃止をする施設は、不動産売却額は出しているのか。 また、川柳地区の前期(5年)の総予算は出ているのか。	【公共施設マネジメント推進課】 施設を廃止した跡地については、原則、売却や有償貸付により財源確保に努めるとしておりますが、地域からの要望や庁内での利活用の希望がある場合は別途、検討することとしておりますので、現時点では売却額の積算は行っておりません。 川柳地区の予算について、地区ごとにどれくらいになるかという算出はしておりません。

NO	頂いたご意見	市の考え方
5	<p>公共施設について、どのような目的で設置する必要があることや、どれくらいの割合で設置する必要があるから全体でこれだけの施設数があるという基本的な考え方が説明ではわからなかった。また、今ある施設が古くなつたから廃止するという考えが、よくわからなかつた。</p> <p>例えば、川柳学園構想では、川柳に大相模の生徒が通うということになるので、人口分布に対してどれくらいの施設が必要かということをベースにして考えなければいけないのではないか。</p> <p>また、13地区で分けて考えているが、川柳学園構想の例も考えられるため、なぜ13地区にして考えるのかわからない。</p>	<p>【公共施設マネジメント推進課】</p> <p>公共施設の再編に対する基本的な考え方として、法令に基づいて設置する施設は、市としてなくてはならない施設の位置付けとなります。施設ごとの需要に伴い、施設の増減が考えられます。例えば、保育所のように少子高齢化のため、子どもの人数が減ることで施設の数を減らさなければいけないこともあります。また、施設を増やす、民間に委託する等も検討する必要があります。</p> <p>越谷市の条例等に基づいて設置する施設は、必ずしも設置しなければならない施設ではありませんが、地域のニーズに伴い、設置している施設等もあり、特に交流館については、老朽化している施設の廃止を検討することを示しております。</p> <p>今回の意見交換会では、13地区で実施しているため、各地区に位置している施設の説明をしましたが、第2次アクションプラン素案では、地区ごとに分けることなく、用途分類別の今後の方向性や行動計画を記載しております。</p>
6	<p>市の施設と同等(同じ用途)の国や県の施設はあるのか。</p> <p>もしあれば、国や県の施設があるため、市の施設は減らすという考えもあるのではないか。</p>	<p>【公共施設マネジメント推進課】</p> <p>同種の施設として、市営住宅と県営住宅があります。</p> <p>頂いたご意見は、所管課に伝えさせていただきます。</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>市内には公営住宅としての市営住宅および県営住宅があります。市営住宅においては、老朽化に伴う集約建替え等の検討を行っておりますが、応募については一定のニーズが引き続きあるため、戸数を減じる予定はありません。</p>

NO	頂いたご意見	市の考え方
7	市が保有する不動産の金額は把握しているか。	<p>【公共施設マネジメント推進課】</p> <p>地方公共団体においても民間企業と同じように財務書類を作成しており、固定資産台帳もあわせて作成し、市ホームページで公表しておりますので、取得価額等の確認ができます。</p>